



令和5年3月24日（金）

杉並区立富士見丘中学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/fujimigaokachu/>

学校だより

これからの中学校

校長 渋谷 正宏

時代とともに学校に求められることも変わり、今後も学校は変わり続けるでしょう。

来るべき「Society5.0 超スマート社会」では、「学校 ver.3.0 『学び』の時代」となり、教育ビックデータを収集・分析し、教育プログラムは個別最適化したものになると言われています。大容量で高速なネットワークにつながった一人一台タブレットにより、全員が黒板を見て教師の説明を聞く従来型の教室風景は近い将来、激変することでしょう。

子どもにとっての「学校」という場はどうなるのでしょうか。高度化したAIドリルは、一人ひとりのつまずきに応じて、的確な出題をしてくれます。一流の先生の授業は、ビデオ・オン・デマンドで提供され、各自のペースで学習を進めることができます。協働的な学習活動もWeb会議システムを活用すればできてしまいます。たいていのことは、学校に通わずともタブレットの画面越しに実現できてしまいそうです。

しかし、そんな時代になっても、子どもが学校という安全な一つの小社会に集まり、社会に出る準備段階としての生き方を学ぶ仕組みはなくならないのではないかと思います。そこで学びの中心は、学習指導要領の枠組みでは、各教科以外の「特別の教科 道徳」、「総合的な学習の時間」、そして「特別活動」ではないかと思います。特に、人間関係形成能力を育む特別活動こそが、今後の学校教育の中心になるのではないかと考えます。

次に大人、地域にとって、これからの中学校は、どのような役割を担うべきか考えてみます。少子高齢化が進み、今後ますます学校規模が縮小していく中で、「学校」を単なる子どものための学びの場としてとらえるだけでなく、地域の重要な社会資源として考える必要があるのではないかと思います。例えば、ハード面では、体育館・校庭・プール等の体育施設や音楽室・家庭科室・美術室等の特別教室の授業での活用場面は限定的であり、可能な限り地域の公共施設として活用が図られてよいと思います。また、震災救援所として地域の防災拠点という観点からも、日常的に学校施設の地域利用を進めるべきでしょう。

また、地域コミュニティの活性化という観点から、ソフト面として保護者活動を充実させるべきだとも考えます。それは、前例踏襲的、慣例的に行われる義務的な学校の支援、お手伝いではない関わり方です。同じ世代の子を持つ保護者が集まり、保護者自身が主体的に楽しく参加できる活動であるべきだと思います。保護者として学校の教育活動に関わる経験が、住民としての地域との関わりの接点となり、地域自治に対する住民参画意識を醸成する契機となるのでないでしょうか。

今後、人口が減少し、地域の人間関係がますます希薄になり、自治活動が成り立たない地域になってしまふことが危惧されます。学校のハード面とソフト面の機能を十二分に活用した『スクール・コミュニティ』というものを創造していく必要があると考えます。そのためには、例えば、学校運営協議会も例えば「地域教育経営協議会」として学校教育を含した地域の社会教育全体を協議する場としてバージョンアップしてはどうでしょうか。まさに「学校づくりはまちづくり、いいまちはいい学校を育てる」の精神です。

これからは一人ひとりが教育の当事者になることを求められています。

『みんなのしあわせを創る杉並の教育』の実現に向け、立場は変わりますが、今後も尽力していきたいと思います。7年間、校長として本当にお世話をになりました。ありがとうございました。

文化祭：合唱・舞台発表会

令和5年3月11日



文化祭は2年ぶりの合唱から始まりました。今回はコンクール形式ではなく発表形式。最初に座席で学年合唱、そして舞台で順番にクラス合唱を行いました。

1年生は緊張感の中でがんばって先陣を務めました。2年生は持ち前の「パワー」で歌いました。3年生は受験直後の時間のない中、お互いを思いやる豊かなハーモニーを創り上げました。



舞台発表は、ピアノ独奏あり、ダンスあり、劇あり、漫才あり、クイズあり、コーラス、そして吹奏楽ありと、舞台発表のアラカルトでした。その中で発表を盛り上げたのは「観客」でした。笑って、手拍子して、賞賛して、観客は発表者の気持ちを見事に受け止めっていました。舞台とフロアが一体感を生み、みんなで1つになった時間でした。



退職者・転出者一覧

これまで、4月1日に発表されていた東京都公立学校教職員の人事異動ですが、生徒と先生の間で余裕をもってお別れの時間を取りという意図で、今年度、東京都教育委員会は発表の時期を早めて3月21日に発表することにしました。

このことを受け、本校では3月24日の修了式のあとに、学校を去る教職員の発表と、別れの言葉をもらう時間をつくりました。お世話になりました。ありがとうございました。

職名	教科等	氏名	異動先等	備考
校長		渋谷 正宏	定年退職	
教諭	英語	両澤 悅子	再任用終了・退職	
主幹教諭	保育	大木 まゆみ	杉並区立井草中学校	副校長昇任
教諭	技術	荒牧 大幹	板橋区立中台中学校	
育休代替	数学	前野 博	足立区立第九中学校、他	
非常勤教員	英語	雨宮 喜美子	杉並区立荻窪中学校	
副校長支援員		中嶋 隆雄	杉並区立荻窪中学校	
講師	国語	富田 千秋	杉並区立西宮中学校、他	
特別支援教室専門員		渡邊 美和子	杉並区立浜田山小学校	

4月の行事予定

日	曜日	行 事
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	始業式 入学式準備 正装
7	金	入学式 正装
8	土	
9	日	
10	月	全校朝礼 給食始 生徒会オリエンテーション⑥
11	火	
12	水	個人写真撮影 正装
13	木	避難訓練 常任委員会
14	金	評議会
15	土	セーフティ教室 保護者会（全体・学年・学級） 10:50～12:10

日	曜日	行 事
16	日	
17	月	身体計測始
18	火	全国学力調査（3年）
19	水	
20	木	内科検診（1・2年）
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	学年朝礼①
25	火	安全指導
26	水	FSS（1年） 修学旅行保護者説明会 15:00
27	木	FSS（1年）
28	金	常任委員会
29	土	
30	日	

富士見丘中学校を去られる先生方からのメッセージ

素直な富士見丘中の皆さんと過ごすことができてとても楽しかったです。

『役が人を育てる』

私も新しいステージに挑戦することになりました。皆さんも勇気を出して一歩踏み出し、新しいことにチャレンジしてみてください。活躍を期待しています。10年間お世話になりました。

保健体育科 大木まゆみ



休み時間、校舎中に響き渡る笑い声。授業を真剣に受けるまなざし。授業中、友達がつぶやいたおもしろい一言でわき立つ教室。私はみなさんのおかげで、そんな貴重な場面をたくさん味わうことができました。みなさんも、これからとの出会い、その時間を大切にしてください。陰ながら応援しています。

富田 千秋

1年間ありがとうございました。当初1学期の任用が1年間という機会をいただき、私にとって本当に充実した楽しい毎日を送ることができました。生徒の皆さんの資質の高さと可能性を授業や行事を通して実感しました。

さらに、その皆さんを支えている、先生方や保護者の皆さんに私も支えられながら今日を迎えることができました。皆さんが、自分らしく、夢や希望に向かって頑張っている姿がはっきりと想像できます。本当にありがとうございました。

前野 博

富士見丘中学校のみなさん、2年間大変お世話になりました。たくさんの方との出会いがあり、毎日楽しく仕事をすることができました。ありがとうございました。

特別支援教室専門員 渡邊美和子

4年間、富士見丘中学校でお世話になりました。コロナとともに過ごした忘れられない学校生活でした。そんな中でも、できることを精一杯取り組む生徒のみなさんと、落ち着いた中にも活気溢れる学校で、楽しく過ごすことができ、幸せでした。

これから皆さんと富士見丘中学校のさらなる発展を心からお祈りしています。

雨宮 喜美子

「英語」という教科を通して、皆さんと多くの時間を過ごしてきました。「英語」が得意な人も苦手な人も、「英語」を使って将来何がしたいのか、ぜひ考えてみてほしいです。皆さんの未来は大きく広がっています。そんな未来に少しでも関われたのなら、この仕事もなかなか素敵だなと思います。35年やってきた教員を、この度卒業します。いろいろありがとうございました。

英語科 両澤 悅子

はじめての教員生活、富士見丘中学校の生徒と共に多くのことを学ぼうと決意した日から一瞬。あっという間に過ぎていった時間でした。生徒のみんなは素直で明るく、たくさんの話をしてくれました。そんな生徒のみんなのおかげで、楽しく、充実した時を過ごすことができました。心残りも多く、本当はまだまだ一緒に過ごしていたい気持ちが強いですが、またどこかで、成長した姿を見ることを楽しみにしています。ありがとうございました。

荒牧 大輔

笑顔の多い人生
を祈ります

副校長支援員 中嶋 隆雄